作成日：2026 年 8 月 3 日　第 3.0 版

抗がん薬処方患者における予防的制吐療法の処方実態調査

１．研究の対象

2020 年～2024 年にがんと診断された方で、岐阜大学医学附属病院を含む、がん診療連携拠点病院等を中心とした院内がん登録を実施している施設でかつ QI 調査に参加している施設で、化学療法の治療を受けた方を対象とします。

また、国が指定するがん診療連携拠点病院等を対象に、糖尿病専門医など薬物療法に関する専門資格をもつ医療従事者の配置と制吐療法との関連を検討します。

QI は、Quality Indicator の略で、診療の質の評価指標です。QI 調査は、「がん診療てん化のための臨床情報データベース構築と活用に関する研究（2013-081）」の一環として、がん診療の質の評価指標に関する研究であり、国立がん研究センターで実施されています。この QI 調査に参加している施設は、下記のホームページで公開されています。

（https://www.ncc.go.jp/jp/icc/health-serv/project/010/index.html）

２．研究目的・方法

研究目的：吐き気や嘔吐リスクのある抗がん薬による治療時に、吐き気・嘔吐止めの薬が、どの程度処方されているのか、その実態を明らかにすることです。

研究方法：がん診療てん化のための臨床情報データベース構築と活用に関する研究（2013-081）（QI 調査）に参加した施設の院内がん登録と診療請求情報を用いて調査します。また、がん情報サービスで公開されているがん診療連携拠点病院等の現況報告のデータを用います。

研究実施期間：研究許可日～2028 年 3 月 31 日

３．研究に用いる試料・情報の種類

情報：治療歴（抗がん薬、制吐剤等）、がんの病期、年齢、糖尿病等の併存疾患、糖尿病専門医等の配置　等

４．外部への試料・情報の提供

本研究では、国立がん研究センターの QI 調査データ利用審査委員会から許可を得て、情報を分析します。QI 調査データは、国立がん研究センター内でのみ保管し、共同研究機関を含め他の機関や外国に、患者さんの個別の情報の提供は行いません。

５．研究組織・研究責任者

研究機関名	所属	研究者氏名	役割
国立がん研究センター	中央病院緩和医療科	里見　絵理子（研究代表者）	研究代表者
	がん対策研究所医療政策部/東京大学大学院医学系研究科	東　尚弘（研究責任者）	研究事務局
	がん対策研究所医療政策部/聖路加国際大学	奥山　絢子（研究責任者）	データ分析
	東病院放射線治療科	全田　貞幹	分析への助言
	東病院薬剤部	中田　千博	分析への助言
四国がんセンター	外科	青儀　健二郎（研究責任者）	分析への助言

和歌山県立医科大学	内科学第三講座	山本　信之（研究責任者）	分析への助言
小樽掖済会病院	外科	沖田 憲司（研究責任者）	分析への助言
浜松医科大学		安部 正和（研究責任者）	分析への助言
大阪府立病院機構大阪国際がんセンター	心療・緩和科	和田　信（研究責任者）	分析への助言
国立看護大学校	看護学部	飯野　京子（研究責任者）	分析への助言
岐阜大学医学部附属病院	薬剤部	飯原　大稔（研究責任者）	分析への助言
福岡大学	薬学部	林 稔展（研究責任者）	分析への助言

６．お問い合わせ先

照会先：国立がん研究センターがん対策研究所医療政策部
〒104-0045　東京都中央区築地 5－1－1
電話　03-3542-2511（代表）
担当者：東　尚弘

研究代表者：国立がん研究センター中央病院緩和医療科　里見　絵理子

岐阜大学連絡先：岐阜大学医学部附属病院薬剤部
〒501-1194　岐阜県岐阜市柳戸 1－1
電話　058-230-6963
担当者：飯原　大稔